

オンライン研修 就学前教育カリキュラム概要版について①



保育・幼児教育センター

【オンライン研修 就学前教育カリキュラム概要版について①】

用意するもの：就学前教育カリキュラム概要版

就学前教育カリキュラム（本編）

※研修の中で、「詳細は本編の○ページに記載」と出てきた時には、本編を開いて読みましょう。

オンライン研修 就学前教育カリキュラム概要版について①



【就学前教育カリキュラム概要版について】

就学前教育カリキュラム概要版は「子どもに関わる全ての方々」に向け、「就学前教育カリキュラム」の内容を伝えるために、わかりやすくまとめたものです。

平成31年3月に「就学前教育カリキュラム」を改訂したことに伴い、概要版を改めて作成し、令和2年3月に各園所に配付をしました。

オンライン研修 就学前教育カリキュラム概要版について①

概要版

子どもに関わる全ての方々へ

就学前教育カリキュラム

① 幼児期は、生涯にわたる人格形成や生きる力の基礎が培われる重要な時期であり、社会の一員として生きていくための道徳心・社会性、知性や体力の基礎を培う大切な時期と認識されています。
そこで大阪市では、乳幼児期の教育・保育の充実を図ることをめざし、子どもの育ちの過程を理解し、指導者・保育者が適切で効果的な環境づくりや働きかけができるように「就学前教育カリキュラム」を作成しました。

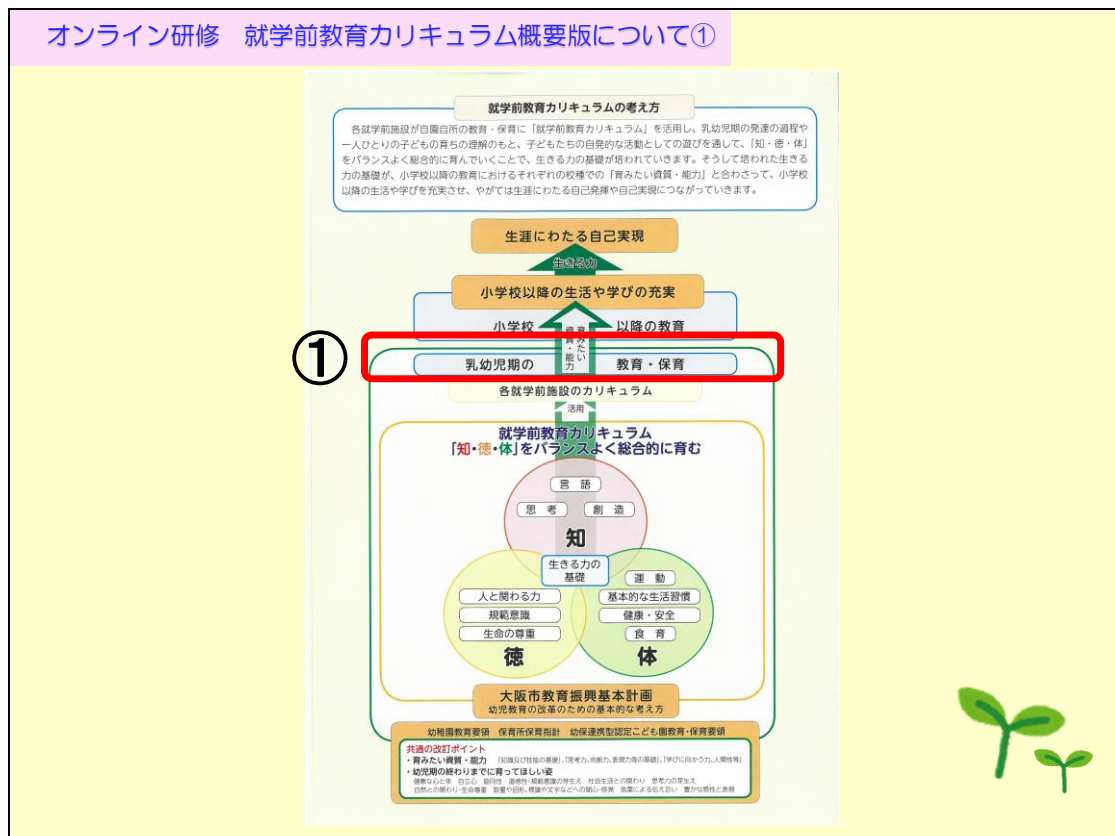
② 子どもは遊びを通して、多くのことを学んでいます。

③

【表紙について】

- ① 「就学前教育カリキュラム」の作成の目的
- ② 子どもたちは遊びを通して多くのことを学んでいます。上の写真は0歳児、下の写真は5歳児の子どもの姿から、遊びを通してどんなことを学んでいるのか例示しています。
0歳児は、保育所保育指針等の乳児保育のねらいに示されている内容を参考に、そして、5歳児は、幼稚園教育要領等に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を参考に、記載しています。
- ③ この写真の子どもたちの姿から考えられる学びは、これだけに限定されるものではないので、「等々」と記載しています

写真の子どもたちの姿から、他にどんなことを学んでいるか、考えてみましょう。



【中表紙について】

「就学前教育カリキュラムの考え方」を表した図を記載しています。（詳細については本編P. 15～16に記載）

各就学前施設が、自園・自所の教育・保育に「就学前教育カリキュラム」を活用し、乳幼児期の発達の過程や一人ひとりの子どもの育ちを理解し、遊び（自発的な活動）を通して「知・徳・体」をバランスよく総合的に育むことで「生きる力の基礎」が培われていきます。そうして培われた「生きる力の基礎」が小学校以降の生活や学びを充実させ、やがては生涯にわたる自己実現につながっていくことを表しています。

① 「乳幼児期の教育・保育」の部分は、多くの方により理解をしていただけるように、概要版には本編の図に新たに加筆しています。

オンライン研修 就学前教育カリキュラム概要版について①

就学前教育カリキュラムが大切にしていること

- ① 学びの芽を育むために
 - 「知・徳・体」をバランスよく総合的に育むこと（※5.領域での実践を基本として）
 - 指導者・保育者の教育的意図をもった働きかけを明確にすること
- ② 学びの芽をつなぐために
 - 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図ること

① 遊びを通して、生きる力を育みます。

就学前教育の生活の充実
(満足感・自己肯定感)

保幼小
交流

保幼小
交流

＜就学までに育みたい3つの心＞

- 小学校生活へのイメージをもつ
- 小学校生活へのあこがれをもつ
- 小学校生活への安心感をもつ

小学校との交流活動を通して、小学校生活へのイメージやあこがれ、安心感（就学までに育みたい「3つの心」）などの心情、意欲、態度を育むことが、小学校教育への円滑な接続につながっていきます。

※5領域：幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼児学習指導要領とともに関連・連携が図られている（健康・人間関係・環境・言葉・表現）

令和2年3月 発行
発行者 大阪市こども青少年局 保育・幼児教育センター
TEL (06) 6952-0173
大阪市就学前教育カリキュラム 検索

【裏面について】

「就学前教育カリキュラムが大切にしていること」を記載しています。

- ① 学びの芽を育むために、「知・徳・体をバランスよく総合的に育むこと」や「保育者・指導者の教育的意図をもった働きかけを明確にすること」の大切さを図示し、わかりやすく説明しています。（詳細については本編のP. 11～12に記載）
- ② 学びの芽をつなぐために、就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図ることの大切さを図で説明をしています。（詳細については本編のP. 105に記載）

オンライン研修 就学前教育カリキュラム概要版について①



就学前教育カリキュラム
「第2章 カリキュラムとラーニングデザイン」を主に参考にして作成



【中面について】

就学前から就学当初の子どもの育ちの様子をイラスト等で説明しています。ここに示した育ちの様子は、あくまでも育ちの道筋であって、実際の子どもの育ちは一人ひとり異なります。一人ひとりの育ちに応じた働きかけが大切です。

上部に、指導者や保育者の働きかけで大切にしたいこと、下部に保護者を始めとする子どもに関わる全ての大人が大切にしたいこと、としてまとめています。

各歳児の内容については、主に就学前教育カリキュラム本編の「第2章カリキュラムとラーニングデザイン」の章から、文言を抽出し記載しています。

子どもの育ちや学びは連続していること、そして、一人ひとりの発達の道筋を理解しながら、子どもに応じた援助をすることが大切なことを、ぜひ、この概要版を活用して、保護者等へお伝えください。

オンライン研修 就学前教育カリキュラム概要版について①

①改訂のポイント
0.1.2歳児の教育・保育の充実

②改訂のポイント
安全教育や防災・減災教育等により、安全を守る力の育成

③改訂のポイント
小学校教育への接続

子どもの育ちや学びは連続しています
子どもが成長していく姿は、様々です。

1 指導要領 保育者の働きかけで大切にしたいこと

0歳児
乳児期の発達段階、乳児期に属することなど大いに異なります。
食生活、睡眠、排泄等を関心の対象とし、一人ひとりの発達段階や生活リズムに合わせて関わりを深めようとする。

1歳児
自分や周りの人、物などに関心をもち、遊びや生活の中で、一人ひとりの発達段階や生活リズムに合わせて関わりを深めようとする。

2歳児
一人ひとりの子どもの発達段階に応じて関わり、自分や周りの人、物などに関心をもち、遊びや生活の中で、一人ひとりの発達段階や生活リズムに合わせて関わりを深めようとする。

2歳～3歳児
「楽しいやい」(遊び)、「いいやい」(遊び)、「やめやめ」(遊び)など、子どもが自ら進んで関わりを深めようとする。

3歳～4歳児
「自分や周りの人、物などに関心をもち、遊びや生活の中で、一人ひとりの発達段階や生活リズムに合わせて関わりを深めようとする。」

4歳～5歳児
「自分や周りの人、物などに関心をもち、遊びや生活の中で、一人ひとりの発達段階や生活リズムに合わせて関わりを深めようとする。」

5歳児
「自分や周りの人、物などに関心をもち、遊びや生活の中で、一人ひとりの発達段階や生活リズムに合わせて関わりを深めようとする。」

2 改訂のポイント
安全教育や防災・減災教育等により、安全を守る力の育成

3 改訂のポイント
小学校教育への接続

【中面について】

また、この中面は、就学前教育カリキュラムにおける3つの改訂のポイントを意識して作成しています。

- ① 改訂のポイント1 「0, 1, 2歳児の教育・保育の充実」
改訂前の就学前教育カリキュラムでは、0～2歳児をまとめて記載していましたが、今回は歳児ごとに詳しく分けて記載しました。
- ② 改訂のポイント2 「安全教育や防災・減災教育等により、安全を守る力の育成」
例えば、1歳～2歳頃の子どもへの関わりにおいて大切にしたいこととして、「何でも試してみたい時期なので、目を離さず身の回りの安全に気を配りましょう」等、安全に関わる文言を抽出して記載しました。
- ③ 改訂のポイント3 「小学校教育への接続」
就学当初までを記載し、小学校入学以降にも子どもの育ちが繋がっていくことを理解していただけるように充実しました。



就学前教育カリキュラム概要版の配付について

- 配付対象は令和2年度在園所児の保護者や教職員、途中入園所児となります。
- 保育・幼児教育センターのホームページにもデータを掲載しています。
- 今後、毎年度末、新入園所児相当分の枚数を配付します。

本年度から就学前教育カリキュラム（冊子）とともに、
就学前教育カリキュラム概要版もご活用ください。



【配付について】

就学前教育カリキュラム概要版は、就学前教育カリキュラムの内容を効果的に周知していただくためにも、内容を説明して配付くださいますようお願いいたします。

ホームページにも概要版のデータを掲載していますので、各園所で印刷していただくことも可能です。A3用紙に出力すると71%の大きさに印刷されます。各園所の実情に合わせてデータもご活用ください。

今後、毎年度末、新入園所児相当分の枚数を配付させていただきます。

本年度から就学前教育カリキュラム冊子とともに、この新しい概要版もご活用ください。

「オンライン研修 就学前教育カリキュラム概要版について②」は、後日、ホームページに掲載の予定です。